



日本赤十字社熊本健康管理センター

概 要

当センターは、日本赤十字社 103 ヲ所の医療施設の中で、予防医学を専門に取り組む唯一の独立した施設です。

昭和 53 年の設立以来、基本理念である“Health for All, All for Health”～すべての人に健康を、健康に全力を～”を旗印に、常に最新の医療機器と専門スタッフを揃え、人間ドックをはじめとする生活習慣病健診やがん検診などの健康管理事業のほか、生活習慣病予防のための啓発や健康増進を目的とする健康支援事業、さらには外来診療事業や社会福祉事業に全力で取り組んできました。

予防医学を取り巻く環境は、昨今の社会情勢から厳しい潮流が続いておりますが、いつの時代も、誰もが健康でありたいという想いは不変です。

当センターがこれまで培った知識と技術を今後の業務に活かしながら、皆さまに「また受診したい」と思っていただけるよう、さらに質の高い予防医療サービスの提供に尽力して参ります。

基本理念

“Health for All, All for Health”

～すべての人に健康を、健康に全力を～

基本方針

一次・二次・三次予防の包括的な健康支援

生涯を通じた健康支援

受診者第一主義の健康支援

新たな予防医学システムの構築

教育研修機関としての使命と役割



組 織

■ 日本赤十字社熊本健康管理センター

- ・ 住所 〒861-8528 熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
- ・ 設立 昭和53年4月1日
- ・ 施設長 所長 緒方 康博
- ・ 会計 平成29年度 決算額 3,348,510 千円
- ・ 沿革
 - 昭和47年 前身となる財団法人熊本県健康管理協会発足
 - 昭和53年 日本赤十字社熊本県支部診療所健康管理センター設立
業務を引継ぎ実施する
 - 平成5年 日本赤十字社熊本健康管理センターに改称
 - 平成9年 新館建設に伴い人間ドックコースの充実を図る
 - 平成17年 がん検診のためのPET-CT診断センター業務開始
～平成29年3月末をもって業務終了

■ 職員数 合計 350 (平成30年4月現在)

職	常勤・嘱託	臨時・パート	計 (人)
医 師	7	11	18
歯科医師	1	0	1
診療放射線技師	19	1	20
臨床検査技師	53	7	60
管理栄養士	8	5	13
歯科衛生士	2	1	3
保健師	33	6	39
看護師	12	26	38
一般職(事務)	73	31	104
運動指導士	5	0	5
技術員・運転・ 調理・助手	10	37	47
マッサージ師	1	1	2
合 計	224	126	350

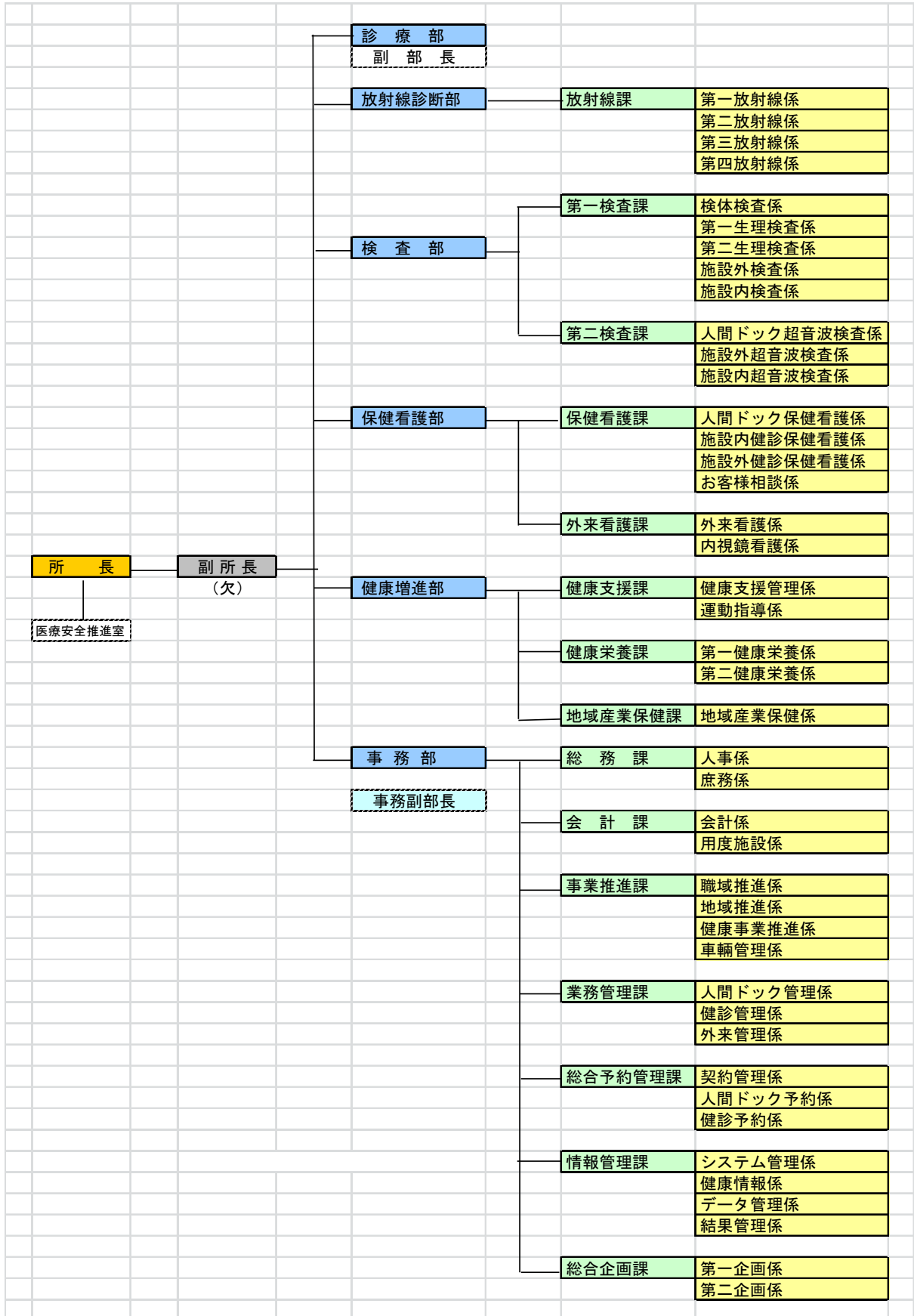


熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

■ 組織図 (平成 30 年 4 月現在)





■ 資格・認定 (平成 30 年 4 月現在)

・医 師

資格・認定	人数	資格・認定	人数
人間ドック指導医【日本人間ドック学会】	4	超音波指導医・専門医 【日本超音波医学会】	1
人間ドック専門医【日本人間ドック学会】	4	日本アレルギー学会指導医(内科) 【日本アレルギー学会】	1
人間ドック認定医【日本人間ドック学会】	1	消化器がん学会指導医 【日本消化器がん検診学会】	1
認定内科医【日本内科学会】	8	消化器がん検診認定医(肝胆膵) 【日本消化器がん検診学会】	2
総合内科専門医【日本内科学会】	2	消化器がん検診認定医(胃) 【日本消化器がん検診学会】	1
循環器専門医【日本循環器学会】	1	胃腸科認定医・専門医【日本消化管学会】	1
消化器病専門医【日本消化器病学会】	4	プライマリ・ケア指導医・認定医 【日本プライマリ・ケア連合学会】	2
呼吸器指導医・専門医【日本呼吸器学会】	1	PET核医学認定医【日本核医学会】	2
放射線診断専門医【日本医学放射線学会】	2	核医学専門医【日本核医学会】	1
消化器内視鏡指導医 【日本消化器内視鏡学会】	2	肺がんCT検診認定医師 【肺がんCT検診認定機構】	3
消化器内視鏡専門医 【日本消化器内視鏡学会】	4	日本抗加齢学会専門医【日本抗加齢学会】	1
産婦人科専門医【日本産婦人科学会】	2	肺がん検診読影医師 【熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会】	3
検診マンモグラフィ読影医師 【マンモグラフィ検診精度管理中央委員会】	2	肺がん一次検診総合判定医師 【熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会】	1
日本産業衛生学会指導医 【日本産業衛生学会】	1	肝臓病認定医 【熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会】	1
産業医学ディプロマ	1	熊本市CKD対策推進「病身連携医」	2
産業医【日本医師会】	11	THP健康測定医【中央労働災害防止協会】	1
脳神経外科専門医 【日本脳神経外科学会】	1	社会医学系指導医・専門医 【社会医学系専門医協会】	1



熊本健康管理センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

“Health for All, All for Health”
すべての人に健康を、健康に全力を

・医療職（診療放射線技師 検査技師 管理栄養士 保健師 看護師 など）

資格・認定	人数	資格・認定	人数
人間ドック健診情報管理指導士 【日本人間ドック学会】	5	THP 産業保健指導担当者 【中央労働災害防止協会】	1
認定超音波検査士 消化器 【日本超音波医学会】	32	THP 産業栄養指導担当者 【〃】	1
認定超音波検査士 体表 【〃】	28	THP ヘルスケアリーダー 【〃】	1
認定超音波検査士 泌尿器 【〃】	22	THP 心理相談員 【〃】	1
認定超音波検査士 健診 【〃】	2	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線 技師【マンモグラフィ精度管理中央委員 会】	6
認定超音波検査士 循環器 【〃】	4	胃がん検診専門技師 【日本消化器がん検診学会】	5
消化器内視鏡技師 【日本消化器内視鏡学会】	2	胃がん X 線検診基準撮影法指導員 【日本消化器がん検診精度管理評価機構】	2
日本糖尿病療養指導士 【日本糖尿病指導士認定機構】	4	胃がん X 線検診技術部門 B 資格検定 【日本消化器がん検診精度管理評価機構】	8
認定産業カウンセラー 【日本産業カウンセラー協会】	11	胃がん X 線検診読影部門 B 資格検定 【日本消化器がん検診精度管理評価機構】	5
禁煙認定指導保健師 【日本禁煙学会】	1	肺がん CT 検診認定技師 【肺がん CT 検診認定機構】	3
院内がん登録初級実務者 【独立行政法人国立がん研究センター】	2	第 1 種放射線取扱主任者 【文部科学省】	2
熊本県肝疾患コーディネーター	1	アドバンスド放射線技師 【日本放射線技師会】	2
診療情報管理指導士 【日本病院会・全日本病院協会】	1	医療画像情報精度管理士 【日本診療放射線技師会】	1
健康運動指導士 【健康・体力づくり事業財団】	3	細胞検査士 【日本臨床細胞学会】	6
特定保健指導実践者研修修了者	55	血管診療技師 【日本血管外科・日本脈管・日本静脈学会 3 学会構成血管診療技師認定機構】	2
熊本地域糖尿病療養指導士 【熊本地域糖尿病療養指導士認定委員会】	8	救急法指導員	7
幼児安全法指導員	1	健康生活支援講習指導員	2



■ 施設認定 (平成 30 年 4 月現在)

認定年月	認定機関	認定内容
平成 2 年 4 月	中央労働災害防止協会	労働者健康保持増進サービス機関
平成 6 年 4 月	財団法人産業医学振興財団	職域健康診断実施機関指定機関
平成 7 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肺がん一次検診機関
平成 7 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	胃がん大腸がん精密検査機関[胃]
平成 10 年 10 月	日本消化器がん検診学会	認定指導施設
平成 12 年 6 月	労働衛生サービス機能評価機構	認定施設
平成 17 年 4 月	熊本県がん検診従事者(機関)認定協議会	肝臓病認定医支援機関
平成 17 年 10 月	日本病院会・日本人間ドック学会	人間ドック・健診施設機能評価認定施設
平成 21 年 4 月	日本人間ドック学会 人間ドック専門医制度委員会	人間ドック専門医制度研修施設
平成 22 年 5 月	日本脳ドック学会	脳ドック施設
平成 22 年 12 月	日本消化器内視鏡学会	指導施設
平成 24 年 4 月	日本産業衛生学会	研修施設
平成 25 年 6 月	マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	マンモグラフィ(乳房エックス線写真)検診施設



施設設備

■ 医療機器等（施設内）（平成30年4月現在）

医療機器等	台数	医療機器等	台数
MRI診断装置	1	超音波診断装置	13
全身用コンピュータ断層（ヘリカルCT） 撮影装置	1	骨 X 線測定装置	1
乳房 X 線撮影装置（マンモグラフィ）	2	上部消化管ビデオスコープ（胃カメラ）	27
胃部 X 線撮影装置	6	下部消化管ビデオスコープ （大腸ファイバー）	19
胸部 X 線撮影装置	2	AED	7

■ 検診車等（平成30年4月現在）

検診車	台数
胃部X線検診車	3
胸部X線検診車	3
超音波検診車	8
マンモグラフィ検診車	1
子宮がん検診車	1
骨密度検診車	1
AED	3



事業実績

■ 事業実績（平成 29 年度）

- ・ 人間ドック 総計 30,946 人（内訳:2 日ドック 4,628 人 1 日ドック 26,318 人）
- ・ 健康診断 総計 117,977 人（内訳:施設内 36,950 人 施設外 81,027 人）
- ・ 健康支援 職員派遣 84 件、産業医 373 件、特定保健指導 3,777 人
- ・ 外来診療 9,356 人
- ・ 優友クラブ(個人会員制度) 会員数 約 4,354 人（平成 29 年 3 月現在）

■ 人間ドック(オプション含む)（平成 29 年度）

検査項目	件数	検査項目	件数
頭部MRI/MRA 検査	3,243	上部消化管内視鏡検査	18,916
胸部CT検査	4,316	大腸内視鏡検査	6,963
腹部CT検査	84	頸動脈超音波検査	4,623
腹部超音波検査	30,610	甲状腺超音波検査	5,582
乳がん検診（マンモグラフィ）	8,423	子宮頸がん検査	8,552
乳がん検診（乳房超音波）	9,647		

■ 施設内健診（平成 29 年度）

検査項目	件数
胃部X線検査 直接	12,485
胸部X線検査 直接	28,939
超音波検査	12,854
マンモグラフィ検査	6,775
子宮頸がん検査	7,775
上部消化管内視鏡検査	43

超音波検査 内訳

腹部	5,968
乳房	6,790
甲状腺	96

■ 施設外健診(検診車)（平成 29 年度）

検査項目	件数
胃部X線検査 直接	8,632
胸部X線検査 直接	36,251
超音波検査	50,917
マンモグラフィ検査	8,605
子宮頸がん検査	9,752

超音波検査 内訳

腹部	31,485
乳房	14,700
甲状腺	4,130
頸動脈	602



日赤熊本健康管理センターのこだわり

お客様の視点で満足度を追求

健診機関として、最新の医療機器や新しい検査項目を導入し、質の高い医療の提供を目指し実施しています。人間ドックは専門職が個人にあったコースやオプションのアドバイスを行い、必要な項目・充実した内容になるようご相談に応じています。再検査・精密検査が必要になる方には、放置することなく受診後のフォローを3カ月後・6カ月後ごとに行ないます。

精度管理の追求と、疾病の早期発見を目指して

健診で重要なことは、徹底した精度管理と疾病の早期発見です。検査ごとに、毎年数カ所の外部精度管理調査へ参加し、管理を行なっています。また、撮影した画像の判定には、撮影技術・読影技術の双方が非常に重要となるため、ガイドラインを遵守した撮影と二重読影を徹底し、必要な場合は、三次判定を実施します。また、技術向上・最新の情報収集のため、学会参加及び発表を積極的に行い、外部講師による勉強会や画像検討会も開催しています。健診項目についても、検査を組み合わせることにより精度が向上し、効果の高い検査を受診いただくよう推奨しています。

団体契約はご相談内容に親身的に対応

各団体の事情に配慮した健診計画を立てご要望にお応えしています。

健診だけでなく、事後フォローや保健指導計画も併せてご提案し、団体のトータルサポートを行っています。

健診データの豊富な蓄積

健診業務では、個人の過去5年間のデータを判定・面談に活用しています。

さらに、1987年(昭和62年)からの豊富な健診データの蓄積により、統計調査や疫学研究・学会発表で活用するなど、予防医学の発展に寄与しています。

フォロー体制の充実

人間ドックや健康診断後の継続的な健康づくりのため、外来部門では、必要な再検査が実施できるように再検査外来を設置しています。また、健康増進・生活習慣改善などの健康支援を個人や団体など相談に応じて実施しています。(特定保健指導、健康セミナー、THPなど)

さらに、精密検査が必要な方には、医療連携体制の整備を行い、専門医療機関を安心して受診いただけるよう予約体制を整備しサポートしています。

新たな期待に応える姿勢

健康管理事業や健康支援を実践し提供する機関として、これまでに培った経験や知識・データを活かし健康社会の実現に関する課題解決を目的として、大学や行政などと連携し研究事業を行っています。

また、熊本県の健診機関との連絡・協議を行い情報共有することで、必要とされる質の高い健診・健康支援に寄与することを目指しています。



日本赤十字社 組織概要 (平成 30 年 4 月現在)

- 本社 日本赤十字社
 - ・住所 〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3
 - ・設立 1877 年(明治 10 年) 博愛社設立
1887 年(明治 20 年) 日本赤十字社に改称
1952 年(昭和 27 年) 日本赤十字社法制定
 - ・名誉総裁・名誉副総裁
名誉総裁 皇后陛下
名誉副総裁 皇太子殿下・同妃殿下 秋篠宮妃殿下
常陸宮殿下・同妃殿下 三笠宮妃殿下
寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃殿下
 - ・代表者 社長 近衛忠輝
兼務)国際赤十字・赤新月社連盟会長(平成 21 年～)
 - ・日本赤十字社会計 (平成 30 年度当初予算)
一般会計 本社 159 億 2 千万円 支部 187 億 3 千万円
医療施設特別会計 1 兆 924 億 1 千万円
血液事業特別会計 1,577 億 9 千万円
社会福祉施設特別会計 157 億 8 千万円
 - ・施設・職員数 (平成 30 年 4 月 16 日現在)
434 施設 67,904 人 (医療施設 103 施設、職員数 58,764 人)
 - ・日本赤十字社の事業
1.国際活動 2.救護活動 3.医療事業 4.看護師等養成事業
5.血液事業 6.社会福祉事業 7.救急法等の講習
8.赤十字活動とボランティア
- 支部 日本赤十字社熊本県支部
 - ・支部長 蒲島郁夫
- 施設 熊本赤十字病院
熊本県赤十字血液センター
日本赤十字社熊本健康管理センター